

3番 畠山昌典です。通告に基づきまして、一般質問を行います。

今回は、以下の2点につき質問します。

1点目は、交流・関係人口拡大への取り組みについて伺います。

町ではこれまでも、様々な施策を計画・実施することにより、この拡大に取り組んできていることは、認識しています。しかしながら、その成果については十分満足できるところまでは到達していないと見るのが妥当だと、私自身の反省も込め実感しています。

全国のほとんどの地域がこの課題を抱えており、そして大半の自治体が解決策を模索している状況にあり、これを反転上昇させるのは至難の業であると考えます。

だからと言って手をこまねいている訳にも行かないので、いくつか提案をします。

まずは、対話によるニーズ把握を徹底して行うことを提案します。これは、地域課題を鮮明にすることや、各部門別の課題を把握することが、これからの町づくりを行う上で重要であると考えからであります。

次に、それらの解決に向けた施策を展開する段階では、町

民を最大限巻き込み、持続可能性や実効性のあるものを創り上げる事も大切です。そのことにより、町民一人ひとりが町づくりのプレイヤーであると認識することにつながると考えます。

その上で、町の活動を知ってもらい、関係人口・関係企業に応援していただく強固な地盤づくりをしていく環境整備が必要と考えます。

町ではこれまでも、町政懇談会や関係機関からの施策要望を通じて、各課題把握に努めてきていることは承知していますが、今一度見つめ直し、これからの町づくりのためにはこういった活動を反復していくことが重要と考えます。町長の所見を伺います。

2点目に持続可能性のある地域づくりについて伺います。

1点目とつながりがある質問になると思いますが、人口減少・高齢化が進んでいる地域にあっては、その地域活動を持続していけるかどうか不安に感じているところが少なからずあると認識しています。通院・買い物などでの交通問題や、これからの季節は除雪も課題のひとつです。道路の整備・維持や荒廃農地など、対策をしなければならない問題は多岐にわたります。

住み慣れた地域で楽しく住み続けるために、どのようなことが必要なのか、こういった支援を求めているのかを各方面で把握し、サポートしていく事も、町の行う重要な施策であると考えますが町長の考えを伺います。

3番 畠山 昌典 議員の御質問にお答えします。

初めに、関係人口拡大に向けた施策の展開についてありますが、議員御提言の対話によるニーズ把握の徹底につきましては、これまでも、町政懇談会、各地区の行事、各種審議会など、様々な機会を通じて、町民の皆様との意見交換や情報収集を行い、時々の課題の把握に努めてきたところであります。

また、企業や関係機関等に対しましても、企業誘致推進委員会をはじめとした意見交換や、直接、事業要望を受けるなど、個別のニーズ把握にも努めているところであります。

各種政策を実施していくためには、町民の皆様や各企業等の協力が必要不可欠でありますので、今後におきましても、町の考えを丁寧に説明し、町民の皆様と一体となって、実効ある施策に取り組んでまいり所存であります。

また、町が行っている様々な施策や活動を、町民のみならず、広く町外の企業にも認知していただくことは、企業版ふるさと納税や、個人版ふるさと納税など

を通じた、本町への投資や応援に結び付くことから、内外に向けた情報発信をさらに強化し、関係人口の拡大に取り組んでまいります。

次に、持続可能な地域活動支援についてですが、御承知のとおり、本町も、人口減少・高齢化が急速に進行し、通院や買物の交通手段の確保や、道路の整備、除雪など、課題は山積している状況にあります。

そして、これらの課題解決に向けた取組については、職員のみならず、議会、町民の皆様など全ての関係者が、互いに協力し一緒になって考え、悩みながら歩みを進めて行くことが肝要であると考えております。

町民の皆様のニーズ把握はもとより、それに対する町の役割、そして町民自らの役割について、ともに理解を深め行動していく中で、その先に持続可能なまちが構築され、地域活動が継続できるものと考えております。

議会はもとより、町民の皆様との強い信頼関係を構築しながら、今後も広く町の考えを理解していただき、町が主体となっていくべきこと、町民自らが行うべき

こと、そして場合によっては困難と痛みを伴う決断が必要となることなどもしっかりと説明した上で、町民の皆様、なお一層の御理解を賜りながら、持続可能な地域づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で答弁を終わります。